



皆様のおかげで松山乳児院機関紙は、この度

創刊から **50年目**を

迎えることができました。

長年に渡り、ご愛読ありがとうございます。

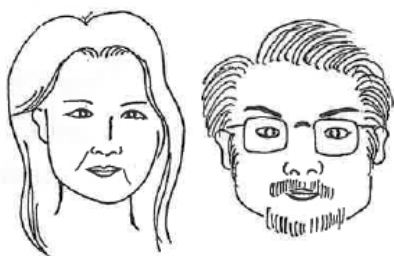
これからもよろしくお願いいたします。



五〇年前、機関紙を発行するきっかけとなったのは、悲しい子どもたちの事件でした。相次いで、松山で赤ちゃんの遺棄事件が発生したのです。その遺棄された場所は柿の木の下であったり、川の土手であったり、夜間の乳児院の玄関内、また、駐車していた車の助手席であったり。一つ間違えればそのまま死亡していてもおかしくないケースでした。出産された親御さんの事情でやむを得ない遺棄であったかもしれませんが、乳幼児の養育の仕事にたずさわる者としては見過ごしにできない出来事でした。出産したものの養育できない、困っている人たちに、手を差し伸べたいという思いから、代わって養育できる場所があるのだと広くお知らせしなければと思い立ちました。



「松山乳児院機関紙発行
五〇周年に際して」
理事長 村上 出
院長 村上 眞實



1997年12月発行
第61号より

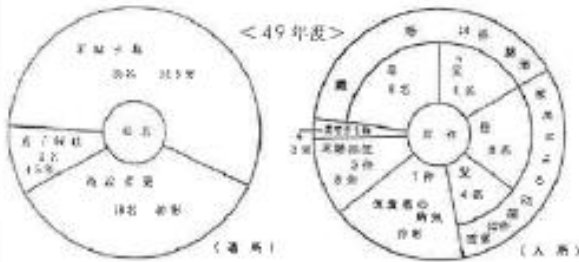
乳児院がどのようにして乳幼児養育の働きをしているのか、乳児院で育つ子どもたちがどんな様子なのか。そのことを知って、安心して託していただけるようにと機関紙発行を始めました。それから早、五〇年の歳月が流れたことに驚きます。私共の思いは変わりません。一人でも多くの子どもたちが、どんな状況の中でもその命を守られ、健やかに育たれることを願い続けております。



創立30周年記念号より

昭和50年（1975年）12月1日創刊

- ・当時は4月、8月、12月の年3回発行
- ・満2歳までの乳幼児を養育
- ・3名の身体障害児が在籍（水頭症・精神薄弱てんかん・脳性マヒ）



- 1976
- ・食堂兼遊戯室・宿直室
 - ・仕込室・調理室・勤務者専用更衣室の増改築完成（旧舎）



- ・愛媛大学 ことばの発達調査に協力
- ・老人ホームガリラヤ荘訪問



- 1977
- ・「Sちゃんの機能訓練」水頭症術後の機能訓練を紹介（第4～7号に連載）
 - ・7/12～21NHK四国本部玄関ロビーにて松山乳児院の記録写真展開催報告
 - ・脳性マヒ・間代性てんかん発作のあるAちゃんの機能訓練（第9～14号に連載）



昭和51年度 院外保育実施内容

月	日	内容	人数	備考
1	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
2	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
3	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
4	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
5	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
6	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
7	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
8	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
9	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
10	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
11	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	
12	1	高松市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会・市立小・中・高・短大・大学・専門学校・社会福祉協議会	10人	

- 1980
- ・愛媛信用金庫社会奉仕部の方々による「1日パパさん」報告（年2回実施）

- 1981
- ・松山東ロータリークラブのご協力により幼児用水洗トイレと門を設置

- ・面会ボランティア紹介
- ・面会のない子どもに週1回面会に来ていただくボランティア
- ・子どもたちの生活紹介
- ・ちゅうりっぷ組…生後数日～10ヶ月
- ・さくら組…11ヶ月～1歳4か月
- ・たんぽぽ組…1歳5か月～2歳
- ・ひまわり組…2歳以上



- ・三島神社へ親子遠足（ちゅうりっぷ組） 院外保育の様子
- ・創立30周年記念号

- 1984
- ・疥癬類末記 8月発症・11月原因判明・1月全員完治

～機関紙で振り返る

- 1985 (40年前)
- ・虐待児増加傾向
 - ・愛着行動の認識
 - ・高校生・大学生保育実習
 - ・愛のスキンシップ体操実施
- 1986
- ・措置児の減少
 - 定員40に対し20名程度
 - ・洗濯特集
 - ママちゃんたちが1か月又は半年交代で担当
- 1987
- ・お別れ遠足の実施
 - ・2クラス制
 - ちゅうりっぷ 0～1歳2か月
 - ひまわり 1～2歳児
- 1988
- ・子どもの日 野外パーティ（おやつ会）実施
- 1989
- ・松大SRC主催春の遠足 梅津寺へ
- 1990
- ・嘱託医の検診は月1回、バルサン消毒年3回
 - ・年2回の介護度調査開始
 - ・乳児院の外壁に、松大SRCによる「壁の中の動物たち」制作
- 1991
- ・イラク戦争始まる
- 1992
- ・台風19号瀬戸内海を通過
 - ボイラーの煙突が飛び、桐の木が倒れる被害
 - ・夜間紙おむつの使用開始
 - セクション紹介（給食部）→
- 1993
- ・夜勤1人体制子ども20人
 - ・労働時間週42時間に
 - 親子遠足のようす
 - ・創立40周年特集
 - ・運動会に近隣の3歳未満児参加
- 1994
- ・育児体験実習募集
 - ・育児体験実習開始
 - ・郵便料金の値上げに伴い 機関紙年2回発行へ
 - ・労働時間週40時間に
 - ・週休2日制の導入
 - ・松山大湯水 夏の間24時間断水続く

乳児院50年～

- 1995 (30年前)
- ・ママちゃんたちのアイデア紹介
 - ママたちのアイデア（ドーナツ型）
- 1996
- ・院長交替：大崎俊博先生から村上眞實先生へ
- 1997
- ・インフルエンザ予防接種開始
 - ・夜勤2人体制に
- 1998
- ・「保育」から「保育士」へ
 - ・月1回の職員学習会開始
- 1999
- ・育児体験実習紹介
 - ・介護等体験開始
 - ・保護者宛に「おおきくなあれ」発行開始
 - ・家庭支援専門相談員配置
 - ・子育て電話相談開設
- 2000
- ・芸予地震発生
 - ・ホームページ開設
 - ・大阪児童殺傷事件を受けて警備業務委託締結
- 2001
- ・「看護婦」から「看護師」へ
 - ・松山大学SRCのお兄さんお姉さんとひまわりクラスで鹿島へ秋の遠足
- 2002
- ・改築のため、松山信望愛の家のグラウンドに設けた仮設で生活
- 2003
- ・乳児院の改築完成（現在の本館）
- 2004
- ・育児体験実習募集
 - ・育児体験実習開始
 - ・郵便料金の値上げに伴い 機関紙年2回発行へ
 - ・労働時間週40時間に
 - ・週休2日制の導入
 - ・松山大湯水 夏の間24時間断水続く

2005 (20年前)

- 2005 (20年前)
- ・3、4歳児の養育開始
 - ・ショートステイ、トワイライトの受け入れ開始
 - ・子どもたちの日常紹介
- 2006
- ・お泊り保育報告
- 2007
- ・手をつなぐ子らのつどいに参加
- 2008
- ・AEDと緊急地震速報装置導入
 - ・機関紙、白黒からカラーに
 - 「くら」
- 2009
- ・新型インフルエンザ発生
 - ・ボランティア活動紹介
 - 東雲中・高生によるハンドベル演奏
 - 「緑寿会」作業風景
- 2010
- ・家庭支援専門相談員2名体制に
- 2011
- ・東日本大震災発生
 - ・ちゅうりっぷクラスの1日紹介
 - ・双海でお泊り会
- 2012
- ・ひまわりクラスの1日紹介
 - ・個別保育紹介
- 2013
- ・介護度調査紹介
 - ・中四国乳児院研究協議会愛媛県で開催
- 2014
- ・法人内研修開始
 - ・SRCボランティア活動紹介
 - ・法人内研修開始

2015 (10年前) ・個別保育・お泊り保育紹介



2016 ・熊本地震発生
・数編ボランティアの「縁寿会」さんに感謝のプレゼント



2018 ・「はぐくみの家」開設
2～4歳の年長児がにじ、かぜ、ゆきの3ホームで生活を始める



2020 ・新型コロナウイルス感染症による外出制限始まる
可能な限りの院内活動の充実を模索



2021 ・2年ぶりの動物園



・年長児の通園開始

2022 ・防災倉庫新設



2023 ・はぐくみの家増改築完成

全面小規模化を実現



2024 ・一時保護専用施設を開設

・院内幼稚園「ひまわり園」開園

2024 ・介護等体験・実習生・ボランティア再開

・里親支援センター「エフスク」開設

2025 ・松山市児童育成支援拠点事業「コイノアクラブ」開設

2025.12 機関紙創刊50周年

そして2025年度 守り続けたい子どもたちの日常



〒791-8016

発行所 松山市久万ノ台一七三
社会福祉法人 松山乳児院
コイノニア協会
電話〇八九九二二一九七二〇

【行事予定】

3 2 1
月 月 月

お正月
節分
ひなまつり

編集後記

今回、五〇年に渡って発行されてきた機関紙を振り返って、いかに多くの人々に支えられて今の乳児院があるのかを知ることができました。また、それぞれの時代で、いかに感染症と戦い、子どもたちの最善を模索してきたか垣間見る事ができました。乳児院に入所せざるを得ない子どもたちに、少しでも愛情に溢れ、満たされた気持ちを持ってもらえるように、職員一同、努力していききたいと思います。

一人でも多くの人に、乳児院の存在とその働きを知っていただくため、末永く機関紙を発行し続ける決意を新たに。今後も紙面またはホームページでご愛読いただければ幸いです。